

マゴソ通信



マゴソスクールを支える会の3年間を振り返って、果たしてどれだけの働きができたか、もっとできることがあったのでは、と自問を繰り返しています。そんな中、春に日本に留学中のドリスとアグネスが宇部で自分たちの思いを、学びを、そして将来の夢を日本語でしっかりした内容で語ってくれ、他のOBOGたちの学業や仕事での奮闘振りの報告を受け、夏休み中にOBOGたちがマゴソスクールで子どもたちのために給食を振る舞う写真を目にして、喜びと力もらっています。

さて、ケニアの教育制度の変更や道路建設や河川整備に伴うキベラスラムの強制撤去（マゴソスクールの敷地も一部含まれる）の影響が懸念されます。強制撤去され学ぶ場を失った周囲の学校の子どもたちを何とか卒業まで学ぶ機会を与えるなど、マゴソスクールの働きは目を見張るものがあり、応援する立場として誇らしく思っています。

春の娘のマゴソ訪問に続いて、いつも活動を共にしている山口県立大学の学生がこの夏、マゴソを訪問してくれました。彼女はその前にフィリピンのミンダナオ図書館（館長：松居友さん）を訪問し、サークル活動のTable For Twoの支援先のフィリピンの学校を訪問して来るという盛りだくさんの夏休みを過ごしました。それぞれで思う事はあったようですが、マゴソスクールの教育環境に感銘を受け、この中で学び過ごせる子どもたちの恵みを評価してくれています。その環境があるからこそ、毎年ケニア音楽フェスティバルで子どもたちが活躍してくれているのだと思いますし、最初に書いたように卒業生も豊かな歩みをしてきているのでしょう。

さて、10月上旬より秋の全国キャラバンが始まります。今回はブルキナファソのベノワさんを加えて大西匡哉さん、早川千晶さんのトリオで前半を周り、後半は二人のボレボレキャラバンです。そして昨年骨折手術を受けたオギラ先生が抜釘のために来日、11月北九州市を中心に日本に滞在し、下旬は各地で交流を重ねながら成田に向かいます。ぜひ足をお運びください。

いつもいつも次から次へと現状と将来に憂いを覚える状況のマゴソスクールですが、リリアンさんや先生方、スタッフの支えで、笑顔で乗り越えてくれると確信し、わずかでもそのお手伝いができる喜びを今後も皆さまと共に分かち合える様、今まで以上のご支援、ご協力、ご指導をお願いします。

マゴソスクールを支える会会長 大城研司

支える会からのお知らせとお願い

- 2018年9月現在のサポーター数は276名です。
- ご友人等にご紹介のためパンフレット・会報等が入用な場合は事務局までご連絡ください。
- 会報は、会員の方、アンケートに答えてくださった方、名刺を頂戴した方、寄付を頂いた方、様々な形でご支援してくださる方、皆様に送らせていただいております。もし、重複して届いていることがありましたら、事務局までお知らせいただければありがたく思います。
- 振込用紙は発送作業の都合上、全員に入れさせていただいております。ご了承ください。
- 会費の領収書は発行しておりませんが、必要な場合は事務局までお知らせください。専従スタッフがおりませんため、ご寄附のお礼(領収書)の発送が遅れますことお詫び申し上げます。
- 皆様からの会費やご寄附はすべてマゴソスクールに送り、会報の印刷・郵送には使っておりません。会報の郵送のために、未使用切手やはがきを会の事務局に送って頂くなど、ご協力いただければありがたく思います。また、お送りくださった皆様、ありがとうございました。
- マゴソスクールに支援物資をと考えられる場合は、必ず早川千晶さんとご相談ください。

マゴソスクールを支える会

事務局 〒511-0044 三重県桑名市大字萱町54-1
Mail: info@magoso.jp HP: http://magoso.jp/
Facebook: https://www.facebook.com/magososupportersclub/



マゴソスクール訪問記

運営委員 2 名が 4 月 25 日から 5 月 3 日までケニアに行き、マゴソスクールを訪問いたしました。

4 月 26 日から 28 日までの 3 日間、毎朝、ダン校長先生にホテルに送迎してもらい、マゴソスクールに通いました。学校はお休み中でしたが、休みの日でもマゴソスクールは開かれていて、校庭では子供たちがいろいろな遊びをやっていました(写真 1)。

また、新しい試みとして、スラムのビーズワーク職人のワニユイケさん(ポレポレキャラバンなどで販売されているキーホルダーや動物の置物は彼の作品です。)がビーズワーククラブをマゴソに作ってくれたそうで、この日は子供たちが、蝶々のビーズ刺繍を布にしていました(写真 2)。



マゴソではいろいろな手仕事を子供たちに教えています。これは、将来の助けにするためだけでなく、手を動かすということが教育の上で大切であると考えからです。

お昼になると給食が配布されます(写真 3、4)。休み中はギゼリを作るためのトウモロコシと赤インゲンマメの支給が受けられないので、ギゼリではなくご飯と緑豆の煮たものでした。マゴソスクールの子供たちだけでなく、弟や妹など 100 人くらいが列に並びます。給食はとっても大切です。これが 1 日のご飯という子供たちがほとんどなのです。

今回は、以前にスタディツアーに参加された障がい児学級の先生から伺ったトレーニング方法をマゴソスクールの特別支援クラスの先生に伝えるということも予定にありました。残念ながらクラスの先生はお休みだったので会えませんでした。障がい児のブグア君と彼のお母さんに会うことができ、トレーニングの方法を伝えることができました。また、運営委員の一人が考え、作ってきた障がい児教育のための学習道具も聴覚障害を持つ生徒に実際に使ってもらいました。



リアンさんやダン校長先生にマゴソスクールについていろいろ話を伺いました。

新しい教育課程に合わせて(ケニアでは、8-4-4 システムから、2-6-3-3 システムに変更されます)、日本の皆さんから支援していただいた中古のパソコンを使って、パソコンルームを図書室の一角に作る予定です。パソコンの管理はマゴソの OBOG が行います。(写真 5 図書室)

現在の職員室は 16 名の先生方に対して、机や椅子が十分になく、各自のためには小さな棚があるだけです(写真 6)。ここを拡張したいと考えています。

また、図書室の充実を図りたいと考えています。小説などの文学作品などの他に、高校の教科書を各科目数冊ずつ置きたいと考えています。これは、セカンダリースクールの休暇中にマゴソスクールに帰ってきた生徒たちが勉強できるようにするためです。

ケニアでは、教科書は学校からの貸し出しなので家に持ち帰ることができません。それらの本を置く棚も作りたいとダン先生は話しておられました。



AIDS や病気の子供たちのために特別の給食を始めました。ギゼリに加えて果物を配るのです。リアンさんの友人たち 13 名が交替で、果物を買って提供してくれています。

マゴソスクールは現在約 500 名の通学生がいます。マゴソスクールはスラムの中でも充実した教育内容を行っているので、入学を希望する生徒がたくさんいるそうですが、その中からキベラの中でも困っている家庭、子供たちを優先して入学させているそうです。

28 日はマゴソの卒業生：OBOG のミーティングでした。ミーティングは学期末ごとに行われ、ここで近況報告を行います(写真 7、8)。セカンダリースクールに進学した生徒を中心に、セカンダリーを卒業し大学に進学したり、社会人になったりした生徒などが出席します。今回も 30 名近くの OBOG が集まりました。早川さんやオギラ先生は忙しくて参加できませんでしたが、ダン先生が一人一人の近況を丁寧に聞いていきました。このミーティングは、年上の OBOG が年下の OBOG にいろいろアドバイスできる良い機会にもなっています。また、マゴソスクールでは、休暇中の大学生 OBOG や次のステップに進みたい OBOG が、アルバイトとして補助教員やその他の仕事をしています。休暇中の給食作りも OBOG が行っていました。



3 日間連続で、マゴソスクールを訪問しました。今回は、早川さんの付き添いなしで、語学もままならない二人でどうなるかと思いましたが、ダン先生がしっかりとサポートしてくださり、充実した 3 日間を過ごすことができました。蛇足ですが、キベラスラムには個人では絶対に行かないようにと早川さんは常々話しておられます。マゴソスクールに来られるときは、必ず早川さんの案内するスタディツアーにご参加ください。

2 日はスタディツアーの人たちと一緒にマゴソスクールを訪問しました(写真 9、10)。スタディツアーでは、必ず警官の人が警護についてくれます。道々、マンダジを食べたり、生徒の家族がやっているお店を覗いたりしながら、マゴソスクールに向かいます。学校では、子供たちの歓迎の歌やダンス、スタディツアー参加者の歌などで交流し、お昼はリアンやママたちが作ってくれたおいしいケニアの伝統食を食べ、マゴソグッズを購入します。そして、生徒や先生の家を訪問したりしながら帰路につきます。



何度来ても思うのですが、キベラもマゴソスクールも活気に満ち溢れています。皆様もぜひ、キベラスラム、マゴソスクールのスタディツアーにご参加ください。スタディツアーは現地参加型と日本発着ツアーがございます。日本発着ツアーについては「たびせん・つなぐ」のホームページをご覧ください。

マゴソスクール データ

① 生徒数

通学生 497名、 マゴソファミリー 28名、
ジュンバ・ラ・ワトト 32名、

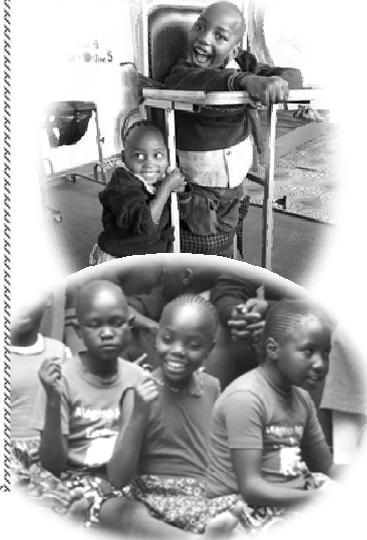
支える会からの支援対象ではありませんが、MORO教育基金や個人的支援を受けているセカンダリースクール在籍者20名、大学生・専門学校生6名がいます。

② 教員・職員数

教員 16名、 特別教室スタッフ 3名、 キッチンスタッフ 3名、
図書室司書 2名、マゴソファミリー手伝い 1名、
OBOG によるアルバイトスタッフ 5名、
警備員 2名、 作業所 8名 (うち4名は支える会の支援対象外)

2018年5月現在

ブグア君とロージーちゃん



2018年ケニア音楽フェスティバル

7月11日、ケニア音楽フェスティバルの地方大会で、マゴソスクールの子どもたちは、過去最高の成績をおさめ、なんと全部で17部門、合計105名の子どもたちの全国大会進出が決定しました。

今回は、これまで毎年、惜しくも全国大会出場は逃していた低学年のSinging Gameも、なんと地方大会で優勝！！その他、伝統曲部門や、パーカッション部門、オギラ作詞作曲のオリジナル曲部門でも地方大会で優勝し、全国大会へ進出することになりました。

全国大会は、8月6日から始まりました。マゴソスクールの子供たちは開催地のニエリにバスで行き、そこで5泊6日過ごしました。キベラスラムしか知らない子どもたちにとって、毎年この音楽フェスティバルでケニア全国各地に遠征するのは何よりも楽しみであり、また、彼らの成長の機会でもあります。こうして仲間たちみんなで何度も何度も練習し、全国の小学生たちと同じ土俵での競い合いにチャレンジしていくのは、彼らを心身共に成長させます。この仲間たちは一生のかけがえのない仲間になります。

「本当に嬉しいのですが、毎年頭を悩ます資金繰りです。なんとか全ての部門を棄権せず全国大会に出させてあげたいです。」という早川さんの声にこたえて、支える会の方にも音楽フェスティバルへの募金を送ってくださった皆様、本当に有難うございました。

お金がないので、衣装や頭飾りは、手作りです。

音楽フェスティバルに行くと、豪華な衣装で出場している学校が多い中、マゴソの子どもたちの衣装は豪華絢爛とは言えませんが、みんなで工夫して作っているのが楽しいと思います。

全国大会出場の17部門と結果は表の通りです。惜しくも全国優勝はのがしませんが、2位が2つ、3位が4つ、4位が4つ、好成績を収めました！！

さらに、素敵なことができました。

ケニア音楽フェスティバルの全国大会では、遠くから遠征する子どもたちは、食料や鍋釜、寝具を持参し、その地方の小学校を借りて過ごします。

マゴソの子供たちは、大会が終わって出発するときに、自主的に大掃除をはじめたそうです。サッカーのワールドカップのときの日本の選手・サポーターの行動に感動して、自分たちも同じことをしようとしたのだということです。

「みんな本当に楽しかったと思います。特に、8年生は年末にはマゴソ卒業してそれぞれの道に進んでいくから、マゴソの仲間たちとの遠征は、一生の思い出になるね。応援してくださっている皆さん、本当にありがとうございました！」と、早川さんはフェイスブックを締めくくっていました。

マゴソの子供たちの音楽に触れてみたい方は、YoutubeでマゴソTVと検索していただくと、オリジナル曲の動画が配信されています。また、CDは早川さんのツアーで、あるいはJiwe(ジウェ)のサイトで購入できます。



| | |
|--------------------------------|----|
| Singing game (低学年シンギングゲーム) | 4位 |
| Amani kenya (平和ソングの合唱・オリジナル曲) | 3位 |
| Luo Drums (ルオ族の伝統タイコ) | 4位 |
| Isukuti Drums (ルヒヤ族の伝統タイコ) | 2位 |
| Ribina dance (リビナダンス) | 4位 |
| Luo fork song (ルオ民謡) | 2位 |
| Small Band (小規模パーカッションバンド) | 7位 |
| Full band (パーカッションと伝統楽器のフルバンド) | 6位 |
| Sacred fork song (伝統聖歌) | 3位 |
| Turkana fork song (トゥルカナ族民謡) | 5位 |
| Orutu (弦楽器オルトゥ) | 6位 |
| Flute (横笛) | 3位 |
| Teso (テソ族の伝統ダンス) | 5位 |
| Sukuma (スクマ族の伝統ダンス) | 7位 |
| Obokano (弦楽器オボカノ) | 8位 |
| Marimba (木琴) | 3位 |
| Kisii fork song (キシイ族民謡) | 4位 |

